

学校自己評価報告書

(平成28年度)

平成29年10月

学校法人藤仁館学園

専門学校高崎福祉医療カレッジ

1. 学校の教育目標

本校学則第1条（目的）に「本校は、教育基本法に則り、学校教育法並びに社会福祉士及び介護福祉士法等に従って、福祉事業にたずさわる者を養成し専門的な知識及び技能を修得させることを目的とする。」としており介護・福祉分野に関する職業人を養成しております。

私たち藤仁館学園の願いは、卒業生が介護を中心とした福祉の世界で、10年・20年先まで中心的人材として活躍し続けることです。

当校に在学中の2年間の学生生活を充実させるのは勿論のこと、卒業後の仕事において、就業年数に相応しい知識・技術・見識を身に付け、それを客観的に証明する「資格」を取得し、仕事に活かすことが出来れば職業人として最高です。

そのため、当校では、設置学科を無意味に増設することに替えて、卒業後3年・5年・10年・15年と卒業生の成長に合わせたスキルアップ教育を提供し、生涯を通じて卒業生と学校が成長しあえる関係を構築することです。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1) 介護福祉学科に関して

一般入学者、離職者訓練を併せて19名の学生が入学しました。

次年度は、現在議論されている在留資格「介護」の創設に伴い、留学生の募集ということも考えていかなければならない。高校新卒者に限らず、多様なルートからの入学者獲得のための工夫が必要と考えます。

(2) 別科に関して

学科名	修業期間	定員	実員	学科内容
社会福祉士科（1年生）	1年6月	320名	250名	社会福祉士一般養成課程（通信）
社会福祉士科（2年生）	1年7月	320名	226名	社会福祉士一般養成課程（通信）
社会福祉士科（1年生）	9月	160名	59名	社会福祉士短期養成課程（通信）
精神保健福祉士科（1年生）	1年7月	180名	66名	精神保健福祉士一般養成課程（通信）
精神保健福祉士科（2年生）	1年7月	180名	85名	精神保健福祉士一般養成課程（通信）
精神保健福祉士科（1年生）	9月	280名	260名	精神保健福祉士短期養成課程（通信）

(4) 養成施設の指定申請に関して

看護師養成所の新設に関しては、現在計画書の作成を進めており、平成30年4月の開設に向けて準備しています。

(5) 実習指導者講習会に関して

「介護福祉士実習指導者講習会」「社会福祉士実習指導者講習会」「精神保健福祉士実習指導者講習会」を複数日程で実施

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	3	2
・学校における職業教育の特色は何か	4	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4	3	2	1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

①課題

学生や保護者との情報の共有

②今後の改善方策

学生や保護者との情報共有手段の構築

③特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか	4	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

①課題

- ① 事業計画に関して、中・長期事業計画の精度を高める。
- ② 情報公開の一層の改善
- ③ 情報システム化等による業務の効率化と共に教職員の能力向上に向けた研修

②今後の改善方策

- ① 中・長期的視野に立って時代のニーズに合わせた方針の修正
- ② ホームページの一層の充実

③特記事項

- ① ホームページの更新
- ② 国家試験対策の強化

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか	4	3	2
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価、単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

①課題

- ① 関連分野の企業、関係施設等との連携によるカリキュラムの作成・見直しが不十分となっている。
- ② 外部関係者からの評価の受入れ体制が不十分となっている。

②今後の改善方策

- ① 教育課程編成委員会による意見をカリキュラムの作成時に導入していく。
- ② 実習巡回時に指摘された内容についてすみやかに授業運営に反映させる。

③特記事項

平成28年度のカリキュラムについては、教育課程編成委員会の意見を反映させ、学校側が主体的にカリキュラムを作成する体制を構築している。

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・就職率の向上が図られているか	4	3	2
・資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活動及び評価を把握しているか	4	3	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	3	2	1

①課題

- ① 進路変更による退学者が出ている。
- ② 卒業生とのネットワークが構築されていない

②今後の改善方策

- ① 進路変更による退学希望者については、進路変更の理由を確認し、福祉業界の魅力、将来性について再度説明する他、担任制を導入していることから、保護者との連携・個別面談等を実施し、退学率の低減に努める。

③特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2
・学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

①課題

授業以外の活動が整備されておらず、課外活動についてはボランティア活動程度になっている。

②今後の改善方策

ボランティア活動だけでなく他の課外活動ができる環境を作る。

③特記事項

- ① 就職支援という時間を1年次60時間、2年次60時間導入しており、その中で実際に施設の方を招いての就職・業界説明会を実施している。
- ② 保護者に対しては毎学期成績表と出席状況を書面にて報告している。
- ③ 卒業後のスキルアップとして、社会福祉士養成施設、精神保健福祉士養成施設を用意している。

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

①課題

- ① 外部研修について十分な教育体制が整備されていない。
- ② 防災に対して十分な体制が整備されていない。

②今後の改善方策

- ① 外部研修への参加を企画し、実行できる体制を確立する
- ② 防災訓練、災害時に備えての周知徹底を行う。

③特記事項

- ① 施設、設備は介護福祉士養成施設の指定基準に則り作成・配置されおり、教育機器については、指定基準以外のもの（高齢者体験装具、肢体不自由者体験装具など）も用意され、教育効果があがっている。
- ② 実習施設については、学生の就職などを考慮して、常に開拓している。
- ③ 社会福祉士、精神保健福祉士の実習施設についても同様に希望に合う様、常に開拓している。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
・学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

①課題

介護に対するイメージが「きつい」「汚い」「臭い」「給料が安い」となっており、いいイメージを持たれていない高校教師、保護者に対する対応

②今後の改善方策

- ① 保護者相手の説明会の実施
- ② 高校教師や保護者向け施設見学会の実施

③特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

①課題

財務情報公開の体制が整備されていない。

②今後の改善方策

財務情報公開の体制の整備をおこなう。

③特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

①課題

自己評価結果等の公開をしている。

②今後の改善方策

自己評価結果等をホームページ等で情報公開していく。

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや不適切・・・2 不適切・・・1			
	・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	3	2
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

①課題

学生ボランティア活動を奨励、支援しているが、実際の人数は少ない。

②今後の改善方策

ボランティアの魅力を伝えていく。

③特記事項

- ① 平成 21 年度より介護技術講習会を実施
- ② 平成 21 年度より群馬県より「介護福祉士養成に係る 2 年間の訓練」の受託
- ③ 介護福祉士実習指導者講習会、社会福祉士実習指導者講習会の実施

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

開校から 4 年経過し学校の教育体制が確立されてきたが、学校評価を通じて今後の課題が下記に掲げる項目が不足していることが再認識された。

1. 学生や保護者との情報の共有
2. 情報公開の一層の改善
3. 教職員の能力向上に向けた研修
4. ホームページの一層の充実と情報公開
5. 関連分野の企業、関係施設との連携によるカリキュラムの作成・見直し
6. 外部関係者からの評価の受入れ体制
7. 課外活動の導入
8. 海外研修についての実施と十分な教育体制の整備
9. 介護に対するイメージアップの説明会の実施
10. 卒業生とのネットワークの構築